

河道閉塞（天然ダム）湯ノ倉温泉地区 観測水位状況について

国土交通省東北地方整備局では、平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した河道閉塞（天然ダム）の監視・観測を実施しています。

このうち「湯ノ倉温泉地区」の水位は、7月7日7時に、越流する危険があると考えられる水位まで残り1mを切りましたが、7月7日からのポンプ排水の増強によって、7月8日1時50分に、1m以上となりました。

被災地周辺では、ここ数日強い降雨の気象予想はありませんが、下流側の河川周辺では十分警戒してください。

なお、今後も降雨や余震等に注意しつつ緊急事業の実施・監視・観測体制を継続し、状況について随時お知らせします。

・「湯の倉温泉地区」観測水位の状況

越流する危険のある水位 EL 394.9m

7月8日9時現在の水位 EL 393.8m（水位差 1.1m）

・直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

7月5日 9時からポンプ1台による排水を開始

7月7日15時10分から、ポンプ8台により排水作業を実施中

・監視、観測体制

引き続き水位監視を継続するとともに、河道閉塞箇所等のへりによる調査等を実施。

（発表記者会）

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

また、栗原市災害対策本部広報室においても配布しております。

（問い合わせ先）

東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官

平石 進（内3518）

夜間直通 022-227-6005

住所 仙台市青葉区二日町9-15

電話 022-225-2171（昼間）

湯ノ倉温泉地区の天然ダムの水位について(7/8 9:00現在)

